

学校園だより

# 良樹細根

丹波篠山市立  
たまみず幼稚園  
城北畑小学校  
10月の2



5年生の自然学校が終了しました！！天候に恵まれ2泊3日の活動を全て終わることができました。1日目は、円山川公苑でのカヌー、カヤック、カッターの体験、2日目は、民宿周辺のウォークラリーと浜遊び、最終日は、竹野での磯観察とストーンペイントを体験しました。浜遊びでは、砂浜に寝転がり波を体ごと浴びる子、穴を掘り岩盤浴のように遊ぶ子、波に服などが濡れないように走り回る子などなど、時を忘れて思いっきり遊んでいました。学校ではなかなか見ることができない表情を浮かべていました。民宿では、食事の前後に引率教員が指示を出す場面がありましたが、先生たちが前に出るとそれまでのざわつきが一瞬にして消えてしまい、耳を傾けようとする子どもたちでした。就寝時間になると、大騒ぎすることなく時間を守って寝ていました。場所移動するときも5分前には集合するなど、集団としての決まりも守っていました。よいクラスに育っていると感じました。また、5年生だけではありませんが、人に何かしてもらったとき「ありがとうございます。」と相手に言う子どもが本校にたくさんいます。自然学校中もその言葉をたくさん聞きました。家庭の力を感じます。とても嬉しいことです。本校児童はあいさつもでき、また、礼儀正しい振り舞いもできて素晴らしい学校です。

6年生、10月8日（木）～9日（金）にかけて1泊2日の修学旅行に行ってきました。曇天でしたが、全ての行程を終えることができました。広島平和祈念資料館では、修学旅行生がほとんどいなく、館内はガラガラ状態でしたが、運よく(?)たくさんの資料に目を通すことができ、戦争に至る経緯と戦争の悲惨さを学ぶことができました。また、被曝された方の講話を約1時間聞きました。明治維新から太平洋戦争までの世の中の様子や暮らしぶり、またご自身の姉弟についての話や原爆の後遺症のお話しも聞くことができました。館内を出る前、子どもたちが講師さんのところに駆け寄り、子どもの頃の遊びや爆心地から被害が拡大する速さとか建物疎開とはどういうことか教えてほしいなどと、質問する子どもとそれを聞く子どもたち、6年生の少しでも学ぼうという姿勢と反応の速さに感心しました。17時前に宮島口湾に着き、フェリーで宿泊先の「杜の宿」に向かいました。途中、船外に出て海風を体一杯に浴びるごとくみんな大はしゃぎでした！2日目は、もみじまんじゅう手焼き体験と広島焼き体験をしました。広島風お好み焼きは美味しく満足していました。完食した後、キャベツやもやしを鉄板の上に散らかっていましたが、小手で寄せ集めたり、焦げ付いたところは水を少し垂らしながら再び小手で鉄板をこするなど、きれいに片付けてから店を後にしました。礼儀正しく、お店の方も感心されていました。5年生も6年生も行儀が良く、安心して見えています。



## 幼稚園合同運動会

10月7日(水)

『コロナふっとばせ！ささたま みんなでがんばろう うんどうかい』  
今回は篠山幼稚園3人キッズと合同で実施しました。8月下旬、篠山幼稚園において、3人で駆けっこなど運動会練習をしてみました。赤2人対白1人での駆けっこ。何回やってみても演技がすぐに終わってしまうことと、白組は1人で息つく間もなく2回も走らなければならないという現実。どの競技をやってみても同じような状況が発生しました。当初、篠山キッズは自分たちだけでも運動会ができるという思いが強かったのですが、9月7日(月) たまみず幼稚園に来園したときに、「みんなと一緒にやりたい。」「みんなと一緒に応援したい。」と本園の園児21名に向かって3人とも意思表示しました。自分の意思を5歳児が表現できるとは思ってもみなかったのですが、その姿はとても立派でした。篠山幼稚園の先生がこのように言いなさいと教えたわけでもなく、自分たちの練習してきた経験から出た言葉だったのです。それ以来、10回以上来園し、合同で練習を重ねていきました。今ではお互いが名前を呼び合うなど応援し合ったり、手を叩きながら笑い合ったり、休憩時間には一緒に遊べるまでになりました。友だちと力を合わせて生活をつくり上げる満足感を味わい、人と関わりを深め自分の世界を広げることができました。さて、運動会(運動遊び)は、教頭追いかけ玉入れ、パン食い競争、キックボードリレー、魔法のじゅうたん、園長引き、特急リレー等々、これまでの種目がないものを取り入れ、親子共々運動に親しみました。保護者アンケートでは、来年度も是非合同で行ってほしいという意見が多くありました。多くの声援により園児の演技に力をいただきました。ありがとうございました。感謝しております。

**ご報告** 第31回伊藤園お～いお茶新俳句大賞に多数の応募の中、入賞しました。  
『ぐにゃっぼん まがりだいこん あしをくむ』4年 片山 陽  
※大根の葉っぱを持ち、スッポ～んと引っ張り上げる姿、曲がり大根、しかも足を組んでいるような大根に目を丸くする本児の様子が浮かんできます・・・おめでとう！！



## 3年生校外学習

10月13日(火)  
丹波篠山市立町の小田垣商店に行き、黒枝豆に関する学習をしてきました。

①種をまく時期、花の色、さやがだんだん膨らんでいく様子、豆の色の変化②箱詰めの仕方③1日の出荷量(約1000箱)④小豆や黒豆の手寄りの様子⑤豆の形(楕円形)⑥篠山の黒枝豆のおいしさと丹波篠山市の地形との関係⑦1日の寒暖差⑧1つのさやに入っている豆の数等々、自分の目で実際に見たり担当の人の説明を聞いたりしながら勉強をしました。子どもたちが生まれ、育ち、住んでいる所には地形を活かしたたくさんの特産品があります。その一つが黒枝豆です。3年生は丹波篠山市内の特色を知るための学習を積み重ねています。地域への愛着や誇りを育み、地域の将来を考え、未来への期待を持ち続ける児童の育成をめざしています。

見学を終れば、次回の活動は10月20日(火)の収穫です。農業委員さんにその仕方を伝授していただきながら、一所懸命働き労働の大変さや苦勞も体験したいと思います。